

カヌー日本代表に

田辺の阪本、西山選手

香川県坂出市でこのほどあったカヌースプリント競技の海外派遣選手選考会(日本カヌー連盟など主催)で、県教委職員の大坂直也選手(25)＝田辺市秋津町＝が男子カナディアンシングル(C1)200㍎で優勝。シニア日本代表に選ばれた。県カヌー協会の西山史扇選手(22)＝同市神子浜2丁目＝は女子カヤックシングル(K1)500㍎で5位に入賞、23歳以下(U23)代表メンバーに入った。



西山史扇さん



阪本直也さん

選考会のシニア部門では、田辺工業高校3年の秦秀明君(17)がK1の1000㍎で3位に入り、代表に選ばれている。田辺の選手が3世代すべての代表チームに入ったことになる。西山さんは3月に和歌山大学を卒業、4月からは上富田町生馬にあるスパー「エバグリーン」で勤務しながら競技を続ける。阪本さんは予選、準決勝と

にも1位で通過。決勝の記録は41秒702だった。「自信はあったし、緊張感を持ってレースに臨むこともできた。この時期としては、まずまずの記録を出せた」と話す。阪本さんはC1の1000㍎にも出場、7位に入賞した。西山さんは予選1位、準決勝は2位で通過。決勝では2分9秒781を記録した。「決勝は予想外のレース展開

で焦りが出てしまい、納得のいく内容ではなかった」と振り返る。西山さんはK1の200㍎では8位に入賞した。

シニア代表は8月にロシアで開かれる世界選手権や9月に韓国であるアジア競技大会を、U23代表は7月にハンガリーで開催される世界選手

権をそれぞれ目指している。阪本さんは「アジア大会でのメダルと、世界選手権でのメダル圏内が目標。大会に向け、今以上に調子を高めていきたい」と意気込んでいる。西山さんは初の代表入りで「体力や技術など、すべての面でレベルアップしたい。メダルや決勝進出というよりも、一本でも多くのレースに残りたい」と話している。